

■「高校と地域の連携強化会議」が実施したアンケート結果を受けて

向原高校

(1) 学校として検討する事項

検討課題	対応策	関連
1) 確かな学力の定着, 授業の質的向上	授業改善(指導の見直し), ICTを有効活用した授業実践 個別指導の充実	Q 6, Q10 Q13
2) 部活動の精選・活性化	ハンドボール部活動の充実及び小中高で連携した選手育成, 下宿の確保, 中学校との部活動交流	Q 6, Q13
3) 学校行事の活性化	生徒会活動の活性化・実働, 特色ある活動の検討・実施	Q 6
4) 人との出会い	入学者数の増加, 地域との連携による取組の充実	Q 6
5) 学ぶ意欲の向上, 進路指導の充実	資格取得のための機会・種類の充実, 進路指導方法・体制の充実・改善, キャリア教育の充実	Q 6, Q11
6) 広報活動の充実	学校HP・案内パンフレットの改善・充実, オープンスクールの内容改善, 地元中学校に対するオープンスクール・模擬授業等の開催	Q 8
7) 他校・他校種との交流活動実施	学校間連携の取組の検討, こぼと園・向原小中学校との連携による取組の検討・実施, 異文化交流の再開	Q13
8) 異文化交流活動の再開・充実	姉妹校との交流の再開・本格実施, 留学の推進, 海外留学生の受入れ, 地域に居住する外国人等との交流	

▼本校において取り組みたいこと

《異なる価値観や文化を有する人々と協働して新たな価値を創造することに資する取組》

世の中の情報通信技術の急激な進展に伴い、現在の社会は人やモノ、情報等が国境を越えて移動するボーダーレスの状況といえる。今後益々グローバル化が進展し、これから社会に出ていく生徒たちにとっては、社会の変化に柔軟に対応し、多様な価値観や文化を背景とする人々と協働して新たな価値を創造する力が必須と考えている。また、高校時代に世界に視野を広げ、異文化に触れることを経験することは、高校卒業後の人生に大きな影響を与えられらる。

このようなことから、新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会の状況を踏まえながら、次のような教育活動を段階的に実践するとともに、その取組の充実を図ることが必要と考えている。

- ①姉妹校(ニュージーランド・シンガポール)との交流の本格的な再開
- ②留学の推進
- ③海外留学生の受入れ
- ④留学生等と交流して協働する機会の確保・参加

一方で、これらの取組実施の前提として、生徒には「広い視野をもって果敢に挑戦する意欲の向上」や「英語等外国語の活用能力向上」は欠かせないところであり、グローバル化の進展を踏まえた日頃の授業の内容の充実はもちろん重要なことであるが、学校として、次のような支援の取組も必要と考えている。

- ①外国籍を有する地域居住者との交流機会の設定・参加
- ②英語塾(仮)の実施・参加
- ③留学や留学受入れに係る情報の収集・提供

(2) 安芸高田市においても検討していただきたい事項

検討課題	対応策	関連
1) 通学環境の改善	公共交通機関の検討, J R 芸備線存続に係る取組強化	Q13
2) 学力定着・向上, 学ぶ意欲の向上	公営塾等の実施に係る金銭的支援	Q13
3) 国際交流活動の促進	留学等に係る費用の支援, 留学生受入れに係る支援 英語塾(仮)の開催	
4) 生徒確保のための支援	下宿代等に係る一部支援, 市内全中学校に対する学校説明会等の開催, 部活動連携等の推進	
5) 教職員の確保	臨時的任用や非常勤職員の候補者リストの提供等	